

令和 7 年度 自己評価・学校関係者評価書(結果公表シート)

令和8年3月13日

海の星鷺の宮幼稚園

1、幼稚園の教育目標

心情豊かな優しい子ども 自分で考え行動できる子ども 元気に活動するたくましい子ども

2、本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

- ①ひとり一人の子どもと向き合い、寄り添いながら、自分のことが好きな子どもを育てる。
- ②園外活動の充実、実体験を増やす保育の工夫
- ③満3歳児の獲得を目的とした幼稚園開放の充実
- ④保育者としての資質向上

3、評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	結果	理 由	学校関係者評価
1	保育の計画性	B	園外保育の充実や有志の保護者の協力により、行事や体験活動が活発になった。 職員の業務分担を進めることで、効率化が図られた。 保育の振り返りや計画を立てる時間を今後もとっていききたい。	B
2	保育のあり方 幼児への対応	A	子どもや職員が安心して過ごすことができる環境を整えてきた。感情を抑え込まず、「泣いてもいいんだよ」「気持ちをだしていいよ」と、一人ひとりの思いに寄り添ってきた。	A
3	教師としての資質、能力、 良識、適正	A	職員同士の距離が近くなり、互いに支え合いながら日々の業務に取り組むことができた。組織の一員として、積極的に意見を伝えた。子どもたちには正しい言葉も伝えてきた。	A
4	保護者への対応	B	共感を大切にしながら丁寧な関りを心がけ、安心して相談できる関係作りに努めてきた。対応力の向上が実感できた。 電話連絡や面談などをこまめにおこない、家庭との信頼関係が深まった。	B
5	地域の自然や社会とのか かわり	C	近隣の小中学校との交流ができ思い出話ができた。園の周りのお散歩も回数を増やしていきたい。	C
6	研修と研究	B	オンライン研修を含め積極的に参加できた。他園との意見交換もでき新たな視点で考えられるようになった。	B
7	外部アンケート	B	園児一人ひとりを大切にした保育ができた。それが、子どもたちの自分の気持ちを素直に表せる姿につながっていった。	B

* 結果の表示方法 A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが、成果が十分に出ない D 取り組みが不十分である

4、本年度の重点課題の総合的な評価結果

保護者の発案により、数年ぶりに「どろんこあそび」を開催し、有志の保護者の協力のもと実施することができた。子どもたちの五感を働かせ、豊かな実体験につながる活動となった。

また、貸し切りバスを利用した園外保育にも数回出かけることができた。近隣の小中学校と交流する機会も増え、卒園児との再会もできた。これらの取り組みを通して、園行事にさらに活気が出てきた。園児が楽しみ、保育者に活気が出て、保護者も笑顔になる。

ほしのこフェスタを開催するたびに、未就園児の来園者が増え、満三歳児の入園数も増加していった。SNSや書面での広報活動を引き続き継続していきたい。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育の計画性	・ 保育のねらいを明確にした計画の内容を、職員間で十分に共有する機会の充実 ・ 短時間でも意見交換ができる場を大切にしていく。
保護者への対応	・ 園から保護者に対して、積極的にアプローチしていく ・ 保護者の方が、思わず話を切り出したくなるような環境設定 ・ インスタグラム、HP、おうちえんの充実
地域の自然や社会とのかかわり	・ 近隣へのお散歩活動を積極的に取り入れていく ・ 田園風景や神社など、地域の環境を感じとる経験をたいせつにする

6、学校関係者評価委員からのコメント

- ・ 近隣の小中学生や高齢者などとの関わりをさらに増やしていただきたいです。
- ・ 園外への散歩や外出する機会を設けてほしいです。
- ・ 担任の先生と日頃から短い時間でも接点があると、気軽に相談しやすい雰囲気になるのではないかと思います。先生たちが忙しそうにみえるので様子を伺ってしまいます。園に携わる人を増やして、先生一人ひとりのゆとりができるといいと思います。
- ・ 担任の先生以外のいろいろな先生が子どもたちを見守ってくれている安心感があります。